

「サイバーセキュリティ株式オープン」の新規買付停止について

平素はちばぎん証券をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、弊社での取扱ファンド「サイバーセキュリティ株式オープン（設定・運用は、三菱UFJ国際投信株式会社）」につきましては、別紙「弊社ファンド運用委託先の運用チーム移管について（三菱UFJ国際投信株式会社発行）」に記載の通り、当ファンドの実質運用者であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシーの担当運用チームが、ヴォヤ・インベストメント・マネジメントに移管されることとなった旨、連絡がありました。これを受け、弊社では当該運用に支障がないことを確認できるまで2022年5月24日（火）から当面の間、当ファンドの買付を停止することといたします。

お取り扱いの詳細は、以下の＜新規買付停止にかかるご留意事項＞をご高覧ください。

お客さまにおかれましては、本件につきましてご理解賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

弊社では、今後ともさらにお客さまの資産運用ニーズにお応えできる商品やサービスのご提供に努めてまいりますので、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

＜新規買付停止にかかるご留意事項＞

1. 対象ファンド

- サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）
- サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）
- サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型
- サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型

2. 新規買付停止する日

2022年5月24日（火）

※なお、換金のお申込みについては、2022年5月24日（火）以降も承っております。

3. 「つみたて投信」のご契約について

2022年5月24日（火）以降、新たなお申込みを承ることは出来ません。

既に「つみたて投信」をご契約の場合は、毎月の自動購入を継続いたします。

本件に関してご不明点等がございましたら、お取引店までお問い合わせください。

以上

投資信託の手数料およびリスクについて

投資信託は主に国内外の株式や債券、その他の有価証券などを投資対象としますので、組入有価証券などの価格の下落（価格変動リスク）、組入有価証券などの発行会社の倒産や財務状況の悪化（信用リスク）、外貨建資産に投資する場合には為替の変動（為替リスク）などの影響により、基準価額が下落し損失を生じるおそれがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、投資元金を割込むことがあります。

投資信託にご投資いただく際には、販売手数料、信託報酬、組入有価証券の売買および保管ならびに信託事務に係る諸費用、監査費用、信託財産留保額、解約手数料などを直接または間接的にご負担いただく場合があります。これらの手数料や諸費用などはファンドごとに異なります。なお、手数料など諸費用の合計額については、保有期間などに応じて異なる場合がありますので、原則として表示することができません。詳細は各ファンドの契約締結前交付書面（投資信託説明書（交付目論見書）および補完書面）をご確認下さい。

2022年5月20日

受益者のみなさま

三菱UFJ国際投信株式会社

弊社ファンド運用委託先の運用チーム移管について

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社の投資信託に格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、アリアンツ・グローバル・インベスターズ（以下、アリアンツGI）の米国法人であるアリアンツ・グローバル・インベスターズ・ユーエス・エルエルシー（以下、アリアンツGI米国法人）に運用指図に関する権限を委託する弊社ファンドにつきまして、担当運用チームがヴォヤ・インベストメント・マネジメントに移管されることが関係当事者間で暫定合意に達したとの連絡を受領いたしましたのでご連絡申し上げます。

本件の趣旨についてご理解賜りますとともに、今後とも弊社投資信託をご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

【対象ファンド】

- ・サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり）
- ・サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし）
- ・サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジあり） 予想分配金提示型
- ・サイバーセキュリティ株式オープン（為替ヘッジなし） 予想分配金提示型

【運用チーム移管の背景】

2020年のコロナショックにおいて、アリアンツGI米国法人に所属するストラクチャード・プロダクト・グループの運用するヘッジファンドが大幅な損失を計上いたしました。米国当局が調査したところ、同グループでは過少なリスク説明や実態と相違したパフォーマンスの報告などの不正行為が行われていたことが判明いたしました。その結果、2022年5月17日に米国当局からアリアンツGI米国法人に対し、10年間の公募投資信託の運用の禁止という処分が下されました。ただし、少なくとも2022年7月26日までは処分の猶予が認められています。

一方で、不正を働いたグループ以外の運用チーム（対象ファンドの運用チームを含む）は、不正に一切関与していないことが明らかになったことから、以前より米国内の提携について協議していたヴォヤ・インベストメント・マネジメントへ移管し、これまでの運用を継続することを関係当事者間で暫定合意に至りました。

【移管先のヴォヤ・インベストメント・マネジメントについて】

対象ファンドの運用チームの移管先であるヴォヤ・インベストメント・マネジメントは、40年以上の運用実績を持つ米国の運用会社です。2022年3月末時点の運用資産は、約2,540億米ドル（約31兆円）です。

【今後の対応方針】

移管後も対象ファンドの運用体制および運用プロセスは維持されるとの一報をアリアンツGIより受領いたしましたが、弊社としても変更がないことの確認を進めています。

また、運用チームの移管は7月26日までに行われる予定です。今後の決定事項につきましては、弊社ホームページにてお知らせいたします。なお、今回の運用チームの移管に関しまして、受益者のみなさまのお手続きは不要です。

以上

- ・ 本お知らせに関するお問い合わせ
三菱UFJ国際投信 お客さま専用フリーダイヤル 0120-151034
【受付時間／9：00～17：00（土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）】
- ・ 受益者さまの個別のお取引内容についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社の本支店へお問い合わせください。